

情報と情報技術を活用した探究的な学びの充実

富山県教育委員会教育みらい室県立高校課
指導主事 吉田壮志

富山県高等学校教育研究会情報部会の研究紀要第21号発行にあたり、会員の皆様におかれましては、日頃から本県情報教育の改善・充実に多大なご尽力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。また、学習指導要領に基づいた生徒の資質・能力の育成に向けて、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、平成30年告示の学習指導要領では、共通教科情報科の目標として「情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成すること」が掲げられています。これは、様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養うことが重要であることを示しています。

「情報Ⅰ」には、プログラミングやシミュレーション、統計的な手法も含めたデータの活用などが盛り込まれました。これまでの指導内容と比べてより高い専門性が求められる内容であり、各校では、試行錯誤を繰り返しながらこれらの指導を実施いただいておりますが、今一度、「プログラミングやシミュレーション、統計的な手法も含めたデータの活用などの情報技術を取り入れた探究的な学びが展開できているか」を念頭に置きながら、学習活動を充実させていただきたいと思っております。世の中にある数多の情報と、情報科で学ぶ様々な情報技術を活用して、生徒自身が身近な事柄や社会における問題を発見し、その解決に向けて取り組む学習活動を実施することが、「知識及び技能」の習得はもちろん、「思考力・判断力・表現力等」の育成や「学びに向かう力・人間性等」の涵養につながります。

富山県教育委員会では、令和4年度より富山大学や県立高校情報科教員と連携して、情報Ⅰの実践事例集を作成してきましたが、今年度は「情報×探究」と題して、「教科情報での学び」を活かした「探究的な学び」の授業事例を作成しました。探究的な学びに正解はなく、あくまで一例ですので、事例を参考にしながら各校の特色や生徒の特性に合わせた学習活動を実施し、情報科における探究的な学びの充実に努めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、本部会のさらなる充実・発展と関係各位のご健勝、ご活躍をご祈念申しあげ、激励の言葉といたします。